

病棟看護師における患者急変徴候への気づきと対応行動の動向およびそれらと院内迅速対応システム（Rapid Response System, RRS）の拡大との関連に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月～2018年12月に当院に入院されていた患者さまで、院内迅速対応チーム RRT (Rapid Response Team) とコードブルーチームによる介入を受けた16歳以上の方

2. 研究目的・方法

1) 研究目的

RRSは、患者が院内心肺停止に至る前にその兆候に介入し、心肺停止を防ぐことを目的としています。そのためには、患者のベッドサイドにいる時間が最も多い病棟看護師がいち早く前兆に気づき、心肺停止に至る前にRRTを要請する必要があります。当院では病棟看護師に対するRRS推進に向けた教育をこれまで段階的に行ってきました。この度、RRS導入から現在に至るまでの教育的介入効果の検証を行うために、電子カルテの診療録等から看護師の行動変化を分析するとともに、今後の課題を明らかにすることで、さらなる医療の質向上につとめたいと考えています。

2) 研究方法

病院情報システム内の診療録データとRRT管理日誌、院内心肺停止対応チームの管理日誌から情報を収集し、看護師の患者急変兆候への気づきとその後の行動について分析します。さらに、それら行動の指標について、RRS導入後から今日までの経年的変化を検討します。

3) 研究期間

2018年 月 日（←倫理委員会承認後に記載予定）から2020年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報（電子カルテ）：

- ・ 患者基本情報（年齢、性別、疾患コード、入退院日、最終転帰 等）
- ・ 診療記録（医師記録、看護師記録、RRT記録 等）
- ・ 経過表（体温、脈拍数、血圧、SpO₂、呼吸数、酸素流量、尿量、意識レベル 等）

情報（RRT管理日誌）：要請日時、介入内容、患者番号 等

情報（コードブルーチーム管理日誌）：要請日時、介入内容、患者番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

ER・外傷センター 川口 なぎさ

TEL：06-6929-1221（代表）

研究責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

ER・外傷センター 川口 なぎさ